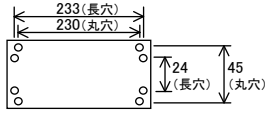
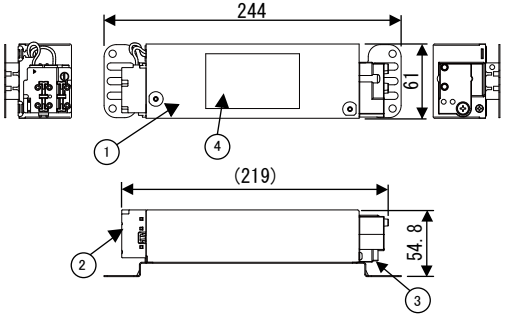
セラミックメタルハライドランプ安定器(電子式) 施工説明書

製品概要

品 番	OP01035－74	OP01070－74
電源電圧	100～242V	
電源周波数	50 ／ 60 Hz共用	
パルス特性	3．8～5．0kV	
適合ランプ（別売）	セラメタプレミアS 35W CDM-T 35W CDM-R 35W	セラメタプレミアS 70W CDM-TD 70W CDM-T 70W CDM-R 70W
最大寸法	長さ244×巾61×高さ54．8mm	
質 量	510g	
電圧変動範囲	定格値±6%	
使用周囲温度	0～40℃	
管灯回路配線長	5mまで	
取付寸法		

上表の使用条件を守って使用してください。
間違えると安定器の故障等の原因となります。
適合ランプはW数によってことなります。ご注意ください。

各部の名称



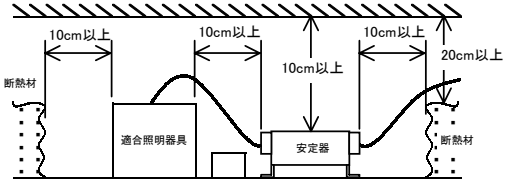
No	名 称	No	名 称
①	安定器本体	③	ランプ(器具)用速結端子(黒)
②	電源及びアース用速結端子(白)	④	銘板

付属部品

● な し

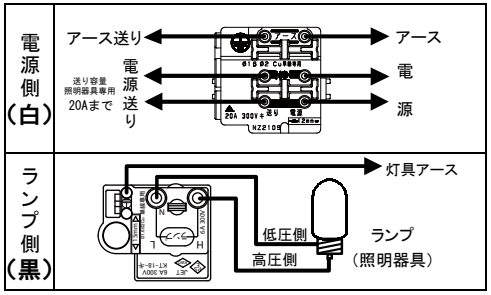
設置方法

- この安定器は"屋内用"です。それ以外のところ(屋外、屋側)では使用しないでください。
- 周囲温度:0～40℃、周囲湿度:35～85%でご使用ください。安定器の故障の原因となります。
- 安定器を2台以上並べて設置する場合、相互の熱の影響を受けますので、安定器の幅以上の間隔をあけて風通に注意してください。
- 安定器を箱の中に収納する場合には、容積を充分大きくとってください。また、換気をして安定器を加熱しないように注意してください。
- 安定器は下記を参考に適合照明器具より10cm以上を離してください。
- 断熱材・防音材があるときは、これらが安定器の放熱を妨げないようにするため、下記を参考に設置してください。配線は、断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。
- 安定器ケースの接地は入力側速結端子のアースより確保してください。
- 安定器は音響線・アンテナ線・アース線(本製品のアース線を除く)等から1m以上離してください。
- 安定器をM4ネジにて、水平な面に取付けてください。
- 取付前に安定器の重量に耐えられるよう、取付部の強度を確認してください。



配線図

● 下図を参考に配線してください。

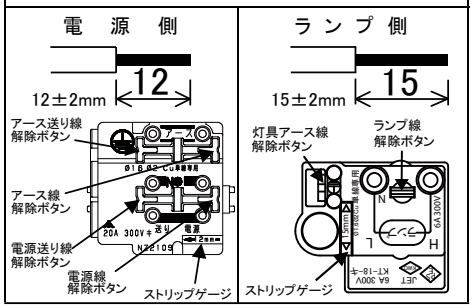


配線上のご注意

- 電源側、ランプ側を「銘板」にてご確認の上、配線を行ってください。入出力線の誤結線により安定器が故障します。
- 低圧側に高圧パルスは重畳されませんが、対地間電圧(300Vrms以下)が発生するため、感電等にご注意ください。
- ランプ(適合照明器具)と安定器間との管灯回路配線長は、パルス減衰を考慮し、"製品概要"の表の値以内としてください。(この長さを超えますとパルスの減衰によりランプが始動しない場合があります。)
- ランプ(適合照明器具)と安定器間との管灯回路配線長は、ノイズの影響を考慮し、"製品概要"の表の値以内としてください。(この長さを超えますと周囲の電気製品に誤動作等の影響を及ぼすことがあります。)
- 電源側アースの接地は、必ず行ってください。
- 出力側アースと器具アースとの接続は、必ず行ってください。
- 電源線と出力線は近接して配線しないでください。

接続方法

- 屋内配線は、適合電線をご使用ください。
- 屋内配線には、3芯のVVF電線φ1．6単線またはφ2．0単線と同等以上の絶縁性能・配線容量をもつ電線を使用してください。漏電・感電・火災等の原因となります。
- 屋内配線は、指定の長さ(電源側12±2mm、ランプ側15±2mm)に段むきしてください。速結端子のストリップゲージを利用してむきしろを決めてください。
- 3芯線の並びは H(高圧側)、 L(低圧側)、 N(接地) の順に使用し、 各線を交差させたりしないでください。



- 電線を接続する場合、ゆるみ・抜けのないように確実に接続してください。接続部の焼損や火災等の原因となります。
- 屋内配線は、速結端子の挿入面に対し、直角に奥まで確実に差し込んでください。(一度引っ張り、接続の確認をお願い致します。)
- 取付後、絶縁抵抗を測定してください。規定値より低いと漏電・感電・火災等の原因となります。100V用で0．1MΩ、200V用で0．2MΩ以上必要です。
- 屋内配線を外す場合は、必ず電源を切り、端子台の解除ボタンをドライバー等で押して電線を引き抜いてください。

使用上のご注意

- 漏電ブレーカの感度電流を設定する際には、以下のことにご注意ください。漏電ブレーカの誤作動の原因となります。
  1)ランプ点灯時よりも無負荷時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
  2)単相3線200Vで片切スイッチを使用する場合は、片切スイッチによる消灯時の方が漏洩電流が大きい場合があります。
- 器具・安定器にものを載せたり、覆ったりしないでください。
- 器具は必ず適合照明器具に適合ランプでご使用ください。
- 製品概要に記載された電源電圧(変動範囲内)・周波数以外の電源で使用しないでください。安定器・ランプの短寿命の原因となります。
- 点灯(放電)開始後完全に点灯するまで数分かかります。
- ランプを点灯させる為、高圧パルスがかかります。点灯後、高圧パルスは停止します。(ランプ脱着時は、大変危険ですので、必ず電源を切ってから作業を行ってください。)
- ランプ交換やお手入れの時は、必ず電源を切ってください。
- 点灯中や消灯直後は、ランプ及び器具が高温ですのでご注意ください。
- 連続点灯の場合でも、一週間に一度は消灯してください。ランプ寿命末期の各種不具合(ランプ破損・器具焼損等)を防止する為です。
- 急激な電源電圧の変動により立ち消え(点灯しているランプが消える状態)が発生する場合があります。
- 落雷などによる瞬時的停電の場合は、電源復帰後自動的にパルスが発振しランプが再始動します。ただし、ランプが充分冷めていない場合は若干の時間が必要となるため、すぐに点灯しない場合があります。その場合は、電源を入れたまま放置してください。
- ランプが点灯するまで約30分間欠的に高圧パルスを発生させています。通電開始後、30分間経過しても点灯しない場合は、一度電源を切り、10秒以上経ってから再投入してください。再投入後、30分間経過しても点灯しない場合は、ランプを確認する必要があります。
- 消灯直後に再点灯しようとする場合は、スイッチは約10秒以上経過後に入れてください。尚、スイッチを入れた後再点灯するには、ランプ温度を下げる必要があるため5～15分かかります。(適合照明器具の種類や取付環境により異なります。)
- 長期間不点灯状態を放置されますと、度重なる高圧パルスにより不点灯器具の管灯回路・パルス発振回路・器具等の故障が発生します。早急に保守してください。
- ランプの寿命により、不点灯・立ち消え・チラツキ等が起こることがあります。このような場合は、電源を切り、早急にランプをチェック又は交換を行ってください。
- 器具・安定器の改造や部品の追加は、絶対に行わないでください。

セラミックメタルハライドランプ安定器(電子式) 取扱説明書 保存用

はじめに

・このたびは、弊社安定器をご採用いただきまして、
誠にありがとうございます。
・ご使用になる前に必ず本説明書をよくお読みの上、
正しくお使いください。
・お読みになった後、大切に保存し、必要な時にお役立てください。
・裏面も必ずお読みください。

施工者様へのお願い

安定器の取付け、電気工事は電気設備技術基準に従って、有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
工事後、この説明書は必ずご使用者様にお渡しください。

(施工者様・使用者様へ)

安全上のご注意

⚠警告	誤った取扱をしたときに、重傷などに結びつく可能性のあるもの。
⊘	安定器は下記の使用環境、条件では使用しないでください。間違って使用すると感電・火災の原因となります。 ・周囲温度が常時40℃を超える所 ・湿度が85%を超えるまたは水気のはね返る所 ・腐食性ガス、可燃性ガス、塩害の生じる所 ・振動、衝撃の激しい所 ・粉塵の多い所
⊘	安定器の構造を変えたり、ケースを開けたりしないでください。感電、火災、落下の原因となります。
⏻	"高圧危険" ランプ始動のため、高電圧(5kV)のパルスが安定器のランプ側に発生しますので、活線作業をしないでください。電撃による感電等の原因となります。
⏻	ランプ交換や保守点検の際は、必ず電源を切って行なってください。感電の原因となります。
⏻	万一、煙、異臭など異常を感じたら、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。異常状態のままで使用すると感電・火災の原因となります。
❗	落下した安定器は故障の恐れがありますので使用しないでください。感電・火災の原因となります。

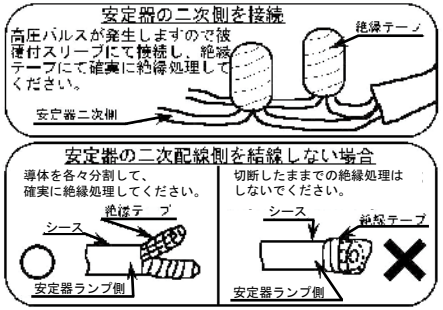
⚠注意	誤って取扱をしたときに、傷害又は物的損害に結びつくもの。
●	安定器は、必ず適合するランプ(安定器の銘板に表示)と組合せてご使用ください。ランプの破損・短寿命、安定器の短寿命等の原因となります。
●	布や紙、断熱材を安定器の上に置いたり、かぶせたりしないでください。温度が高くなり、保護機能が動作したり、火災の原因となります。
●	冬季など長時間使用しない施設では、周辺の湿気により絶縁が低下し漏電・感電の原因となります。湿気対策として定期的に通電してください。
●	安全に使用するために、3～5年に一回は工事店などの専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら、交換してください。寿命末期(一般に寿命の目安は約10年)には異常発熱・発煙・発火の原因となります。

(施工者様へ)

安全上のご注意

⚠警告	誤った取扱をしたときに、重傷などに結びつく可能性のあるもの。
❗	湿気の多い所や水のかかる所には設置しないでください。
❗	電線の絶縁体に刃物等による傷をつけないようにしてください。絶縁破壊により漏電・感電・火災の原因となります。
❗	安定器の配線は、施工説明書に従い、結線は安定器の銘板に表示してある接続図通りに確実に行ってください。間違って配線をしますと安定器の焼損またはランプの不点灯・破損等の原因となります。
⊘	"高圧危険" 安定器のランプ側にはランプ始動の為、高電圧(5kV)のパルスが発生します。安定器のランプ側速結端子に接続したリード線を器具に接続しないままで放置しないでください。未結線のまま電源を投入しますと配線が焼損し火災の原因となります。下図(安定器ランプ側の絶縁処理方法)に従い確実な絶縁処理を行ってください。
⊘	管灯回路内に中間ジョイントとして、コンセント等の接続器を使用しないでください。絶縁破壊により火災の原因となります。
⊘	端子台または口出し線を持って安定器を運搬しないでください。接続部での断線、絶縁破壊、接触不良による発熱等事故の原因になることがあります。
⏻	活線作業はしないでください。漏電・感電・地絡の原因となります。

安定器ランプ側の絶縁処理方法



⚠注意	誤って取扱をしたときに、傷害又は物的損害に結びつくもの。
●	安定器の取付は施工説明書に従い、確実に行ってください。不完全な取付をしますと安定器の落下によるけが及び安定器故障の原因となります。
⏚	この安定器は電気設備技術基準に準じた「D種接地工事」が必要です。接地工事をしないと感電の恐れがあります。

図記号の意味は次の通りです。

⊘ 禁止	⊘ 分解禁止	⏻ 電源遮断	❗ 厳守	⏚ アース線接続

施工説明書について

裏面に記載しておりますので、施工者様はご使用前に必ずご確認して頂き、ご理解した上で正しくお使いください。

※ この説明書は工事終了時、お客様にお渡しください。

お客様相談窓口

商品のお問い合わせ・修理・アフターサービスのご相談・お問い合わせは、安定器上面に貼付している銘板で品番をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、工事店もしくは下記の相談窓口までご連絡ください。

お客様相談窓口

マックスレイ株式会社

東　京　03-3791-2711

大　阪　06-6967-0123

名古屋　052-252-9556

福　岡　092-431-7824

No. I-863150-3-0